

今月の

メッセージ

## R.I.会長のメッセージ



ルイス・ビセンテ・ジアイ  
1996～97年度国際ロータリー会長

ルイス ビセンテ ジアイ  
Luis Vicente Giay

アルゼンチン アレシヘス生  
ブエノスアイレス大学卒業 公認会計士  
ジアイ・アグロベクアリア株式会社社長兼会長  
ブエノスアイレス市およびブエノスアイレス州  
経済専門委員会メンバー  
バルトロ・ミート公認会計士協会会長  
1961年 ロータリー入会  
現アレシヘスロータリークラブ会員  
1987～89年度 国際ロータリー理事  
1988～89年度 国際ロータリー財務長  
1990～91年度 国際ロータリー会長エイド  
1990～93年 ロータリー財団管理委員会委員

ロータリーの友人の皆さま

運命は待つものではなく、つかむものです。運命は、座視すべきものではなく、達成すべきものです。新しい世紀を迎えようとしている今、私たちは、ロータリーの豊かな歴史の回転軸に立っています。今や大いなる技術的、社会的変化による激動の時代です。

ノーベル賞を受賞した科学者ジョナス・ソークは、かつてこう言いました。「私たちの最大の責務は、よ

き先達になることである」。私たちの先輩が確立した枠組のうえに、新しい世代のためのよりよい未来を築けば、それが先輩に対する最高の恩返しになるでしょう。

ロータリーは、来るべき時代を活力あふれるものにする回転軸です。私たちの理想は、全世界的なものです。私たちの世界的組織は効率的であり、私たちのプログラムは、人類の基本的ニーズに取り組むものです。奉仕への献身に基づいて行動すれば、私たちロータリアンはまさに未来の建設者たりうるのです。

私たちが自らの運命を達成しようとするなら、また21世紀の建設者として参画するとしたら、新しい青写真をつくるのは今です。私たちは、明日の設計図にわれわれ自身の手形を残さなければなりません。そこで

築け未来を—行動力と先見の眼で。

建設者としての私たちの第一の責務は、未来に対する夢を実現するために、まず堅固な土台をつくることです。生きていく組織として、私たちの柱は行動の上に打ち建てられます。私たちのあらゆる奉仕活動は一つ一つどれも、ロータリーの真価は私たちがいかに行動するかにかかっている、という証になっています。いつでも、行動は言葉より雄弁です。

ロータリーは、奉仕という命の血によって地域社会に善を実現する巨大なる力です。行動がなければ、「超我の奉仕」は空念仏にすぎません。さればこそ、すべてのロータリアンが身をもって参加することが、行動で未来を築く唯一の方法なのです。

しかしやはり、先見の眼が必要です。先見の眼による行動は、世界に希望をもたらします。先見の眼のない行動はしばしば骨折り損に終わります。さりとて行動を伴わぬ先見の眼は幻にすぎません。先見の眼があれば、今私たちがかつてないほど急速に変化している世界に住んでいることがよく分ります。先見の眼によって、地平線のかたの人類のニーズまで見えてきます。こうした変化が人々の生活に影響を及ぼす道筋をさらによく見通せば、私たちはぬかりなく可能性豊かな未来を築くことができるでしょう。

未来は遠くにあり、出会うのを待っているというものではありません。未来は、今ここで、つくられるのを待っているのです。未来は私たちの手の中にあります。今、ロータリアンは、奉仕の理想を来るべき世代につなぐことによって、よき先達として行動することができるのです。力を合わせて、

築け未来を—行動力と先見の眼で! 敬具

1996～97年度 RIのテーマ



◆先達の歩みに敬意を払うことによって未来を築こう

◆会員増強で未来を築こう

◆職業奉仕の質を高めることによって未来を築こう

◆次の世代を準備することによって未来を築こう

◆平和な都市づくりに尽力し、未来を築こう

◆ロータリー財団を支援することによって未来を築こう